

大ニハコトヲモテ議案ニ附シタル

山本西吉

入矢直二

山口常八郎

にして、階級政黨である社会民衆黨は、此時既に名實共に完全なる自殺を遂げたるものと信するのである。斯くて今や曝露されつゝある政民兩黨の疑獄事件の本質は何等異なる所がないではないか。否多數労働者を直接權に供する點に於いては一層極端なるものと云ふべきである。

三、我等は前項階級的裏切行爲の是非を大會に於いて全國選出代議員大衆の討論に付せんとした。然るに大會に於いては、我等の最も排撃せる政友會の「原憲兵衛」の發言に於いてなしたる故智に倣つて、一切の質問、討論、動議を封鎖して言論を抑壓し、事を曖昧模糊の中に葬り去つた事は、ここに黨最高の決議機關としての大會の意義があり、無産黨としての實があるのか。政友會、民政黨の反動的功利的既成政黨の行動より正しきものと信じ得るか？

その他攻撃に忍みならずとも唯は滿天下の勤勞階級がその解放の爲め唯一無二の政黨と信じてたる社民黨がその階級性を放棄したる以上、總同盟その他二三組合幹部の野望を滿さんとする朋黨的集團と化したる今日、最早我等はこれに止まる事を得ないのは當然の事である。

一九二九年十二月十日

社会民衆黨 有志代議員一同
大阪府支部聯合會

脱退に至りし經過並に

新黨組織準備會成立に就て

吾等は、右脱退聲明書を携へ、議場に出席したる所、宮城縣支部聯合會、長野縣支部聯合會、群馬縣支部聯合會、富山縣支部聯合會、北海道支部聯合會、東京第七區支部、東京江東支部より、労働組合全國同盟が、議定は、事實に相違し餘りに討論に失するに云ふので、大會に對し選挙費用は、組織労働者、農民の所在する工場、重役地主等より收受することを得ずとの議案を提出して、黨の分裂を避けんがため、之に對し本部幹部の凡ては賛成したるに拘らず、總同盟側の幹部は極力此の提案の阻止反對に努めたる爲、右七支部聯合會の人々は分裂の止む無き事情を訴えられ、此の上は、一回此の議場に居るに忍びずと回答して、一回退場され、茲に四年の歴史を有せる社民黨は、歴史的な大分裂を來すに到つたのである。

吾等は脱退聲明書提出し、同時に靜かなる挨拶をなし、議場退場後芝園赤羽旅館に於て、全國的新黨組織準備會を組織することを、出席代議員一同協議一致を以て可決した。吾等は社会民衆黨の、反動化する社会民主主義を克服して、清新なる社会民主主義を指導精神とすることを議定し、組織に關する重要事項並に、準備委員會を選任した。

尙全國の各地、特に右七縣支部聯合會は、代表を吾等に送られ懇談する所があつた。

昭和四年十二月十日

大阪市北區中之島五丁目中之島マ内濱田方(電話四三三六三)

新黨組織準備會

責任者 大阪府支部聯合會江成町三三 山内美吉